

Jera



渥美火力発電所

WELCOME TO ATSUMI THERMAL POWER STATION!

渥美火力発電所のみどころとポイント

・美しい自然との調和を図り、環境対策や緑化に注力

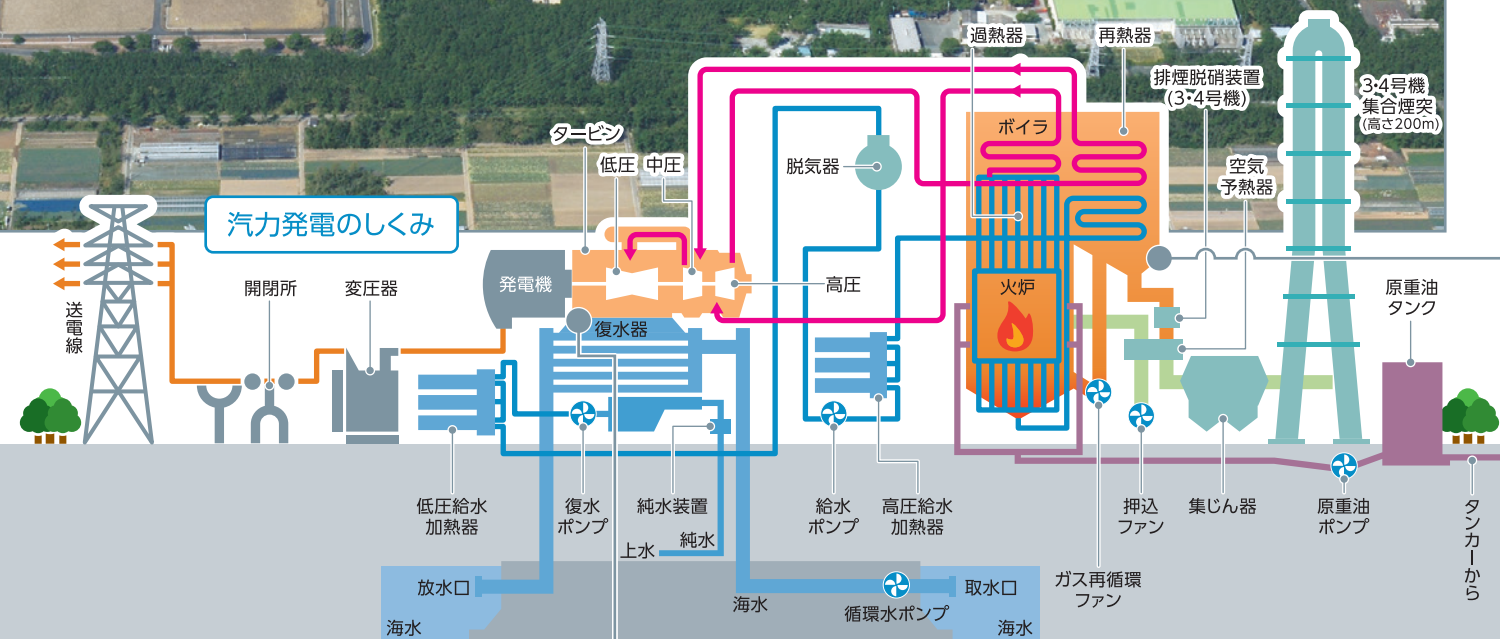
美しい自然との調和を図り、環境対策や緑化に注力

渥美火力発電所は、渥美半島先端の伊良湖岬より北側約10kmに位置します。1971年に営業運転を開始し、現在は総出力140万kWの発電所として、各地に安定した電力を供給しています。ボイラやバーナの自動制御装置、電子計算機によるタービン自動起動装置などを採用し、すべての操作が制御室から安全に行える体制になっています。周辺一帯が三河湾国立公園に指定され、美しい自然の中にあることが当発電所の特徴で、周囲との調和を図るために緑化に努めています。また、排煙脱硝装置の設置、集じん器の設置、大型化学消防車の常備、オイルフェンス展張船の配備など、環境・安全・防災の各方面の対策に万全を期しています。



CHECK! みどころ 緑豊かな 火力発電所

敷地を囲む自生の松林や周辺の三河湾国立公園など、美しい自然との調和を図るために、約108万m²の広い敷地内にクロマツ、ニセアカシアなどを植樹して緑化に努めています。



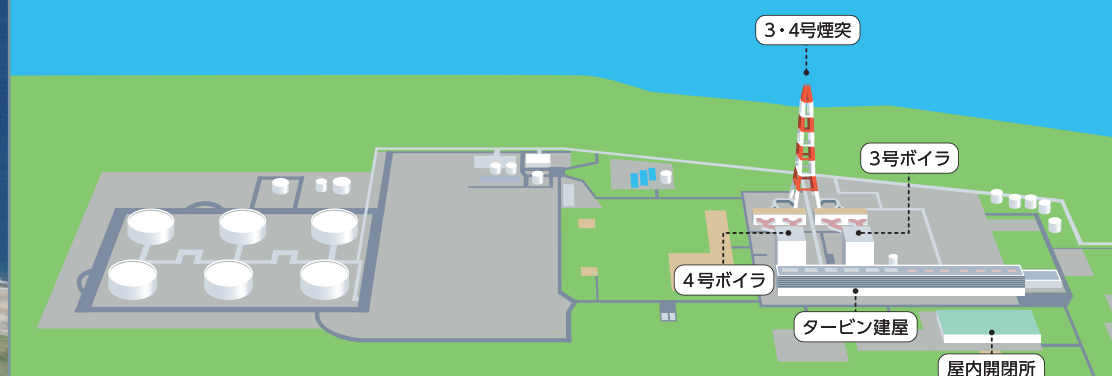
タービン発電機

ボイラでつくられた高温・高圧の蒸気はタービンを回転させ、これに直結している発電機は毎分3,600回転という高速回転で70万kWの電気を起こします。

ボイラ

貯油タンクから送られてきた原重油はボイラで燃焼されます。このときボイラ内の温度は約1,500℃にもなり、この熱を利用してボイラ用水を高温・高圧の蒸気にしてタービンへ導きます。

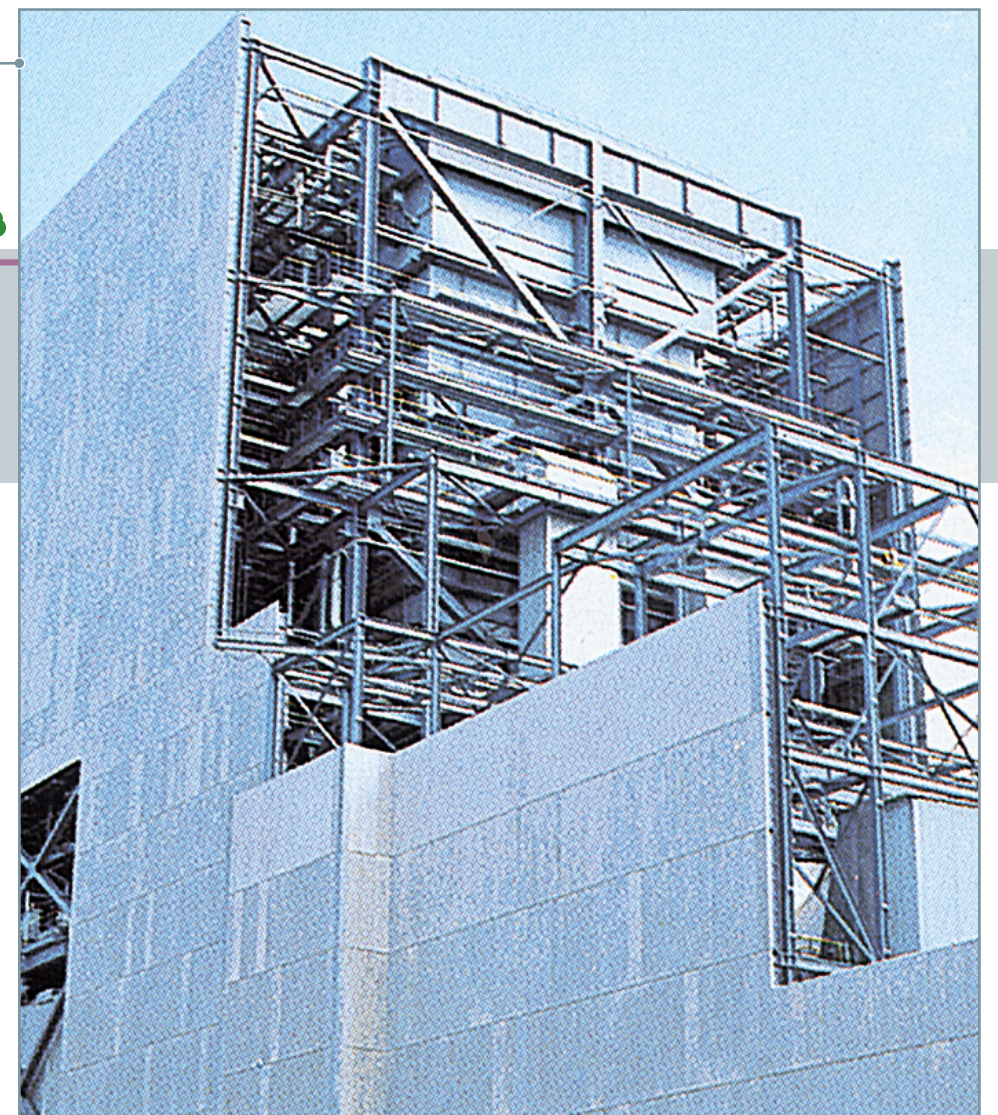
発電所全体配置図



設備概要

発電設備	出力(万kW)	燃料	運転開始	発電種別
3号機	70.0	原重油	1981年 5月	火力
4号機	70.0		1981年 6月	

●発電所名／渥美火力発電所 ●所在地／愛知県田原市 ●敷地面積／約1,080,000m²



環境への取り組み

空気をよごさないために

当発電所では、周辺地域の良好な環境を保全するため、様々な環境対策を講じています。ばいじんや硫黄酸化物などの大気汚染原因物質は、電気式集じん装置、排煙脱硫装置により除去され、煙突から排出します。窒素酸化物は、NOx発生が少ない燃焼器や排煙脱硝装置を採用することにより、低減しています。

海をよごさないために

発電所から排出される機器洗浄水や生活排水は、油分離・中和などの前処理実施後、総合排水処理装置で凝縮・沈殿・ろ過・中和などの方法で浄化し、水質を確認した上で排水しています。

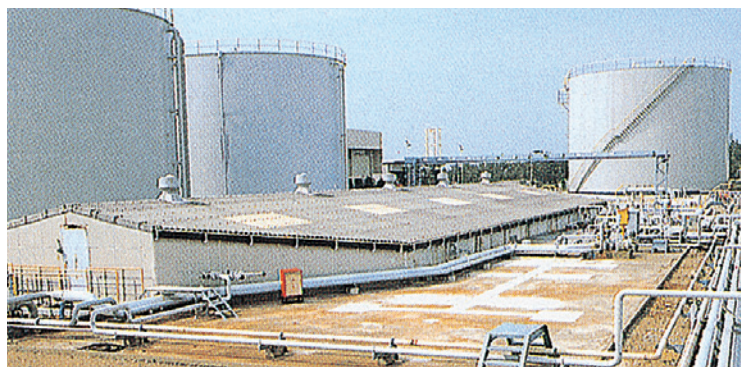
地球環境を守るために

発電所では地球環境を守るため、地球の貴重な資源をより高い発電効率で発電することが重要です。発電効率が高くなると地球温暖化の原因となる二酸化炭素の排出量も抑えることができます。当社は、これまで培った技術力や高効率な発電設備の導入を進めることにより、限りある資源の節約と地球温暖化の抑制に貢献してまいります。



集じん器の設置

排煙中のばいじんをなくすために、すべてのボイラには集じん率90%以上の高性能電気集じん器が取り付けられており、ばいじんを直流高電圧により捕集し取り除きます。



含油排水処理装置の設置

油の混入した水は、含油排水処理装置で油分を除去し、きれいな水にしてから排出します。排出される水は油分計などで常時監視しています。



緑化

発電所周辺の環境保全のために、発電所敷地内にはクロマツ、ニセアカシアなどを植樹して緑化に努めています。現在、敷地総面積の約41%が緑化され、周囲の自然環境との調和をはかっています。



株式会社JERA

渥美火力発電所

〒441-3618 愛知県田原市小中山町久工森1-2
TEL 0531-32-1291

本書の内容を本来の目的以外に使用することや、当社の許可なくして複製・転載することを禁じます。 2024.9 作成

Jera